

第3回



博物館準備室

このコーナーでは、新博物館基本構想で取り上げた『幸田町になくてはならない文化財』を紹介していきます。3回目となる今回のテーマは「西郷氏と大草松平家」です。

幸田町の歴史上「西郷氏」というと、ピンとこない人が多いのではないのでしょうか？

西郷氏は、三河国守護代を務めた、岡崎市中心部から本町大草辺りまでを支配した一族です。1550年代前半に、西郷頼頼が菅生川右岸に、後に岡崎城となる砦を築きました。

頼頼の子頼嗣は、松平信光に攻められて和を乞うべく、信光の五男、光重を娘婿として迎えました。この時、隠居した頼嗣が住んだのが大草城であったと考えられています。後に菩提寺となった正楽寺には、幸田町指定文化財「西郷頼頼像」の他、西郷頼頼持仏と伝わる仏像が保管されており、西郷氏の墓もあります。

その後、岡崎城は松平光重を始めとする岡崎松平家が城主となりますが、松平清康（家康の祖父）が岡崎城を攻めた後、岡崎松平家の娘と結婚し、岡崎城へ入ります。これにより岡崎城を退居せざるを得なくなった岡崎松平家は、大草城に移り住み、大草松平家を名乗ります。昨年大河ドラマ『どうする家康』でお笑いトリオ「東京03」の角田晃広さんが演じていた大草松平4代昌久が、三河一向一揆の際、徳川家康憎しで反抗していたことは、記憶に新しいところですが、実はこのような背景があるのです。三河一向一揆で徳川家康に負けた大草松平家は、松平一党のなかで影を薄めていくこととなります。徳川家康に従い大名となった深溝松平家とは対照的なあり方を示しています。



西郷頼頼像



西郷頼頼、熊谷氏 墓所



伝西郷頼頼持仏

問合せ 文化スポーツ課 文化グループ（中央公民館内）
☎(0564)62-1111(内線195) FAX(0564)63-1675
月曜休館（月曜が祝日の場合は翌平日が休館）



◀新博物館基本構想
についてはこちら



▲幸田町公式
Instagram



▲幸田町公式LINE

